

# ムルロ工房と 20世紀の巨匠たち

# パリが愛したリトグラフ

Atelier Mourlot et  
la lithographie du XXème siècle



ピカソ、マティス、シャガール、ミロ……

マルク・シャガール「ダフニスとクロエ」より「荒らされた花々」、1961年、リトグラフ、42.0×32.0 cm、M.343、神奈川県立近代美術館  
Marc Chagall (1887-1985), *Daphnis et Chloé*, "Les fleurs saccagées", 1961, lithographie, 42.0×32.0 cm, M.343, The Museum of Modern Art, Kamakura & Hayama  
© ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2015, Chagall® E1415

2015年

4月4日|土|—5月12日|火|

開館時間=9:30-17:00(入館は16:30まで) 休館日=月曜日[5月4日(祝)は開館]

DIC川村記念美術館

Kawamura Memorial DIC Museum of Art

入館料=一般1300円(1100円)|学生・65歳以上1100円(900円)|  
小中学生・高校生600円(500円) \*( )内は20名以上の団体料金

主催=DIC株式会社、読売新聞社、美術館連絡協議会 特別協力=うらわ美術館  
協賛=ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、日本テレビ放送網  
後援=在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本、  
千葉県、千葉県教育委員会、佐倉市、佐倉市教育委員会



# ムルロ工房とパリが愛したリトグラフ

## Atelier Mourlot et la lithographie du XXème siècle

フェルナン・ムルロ(1895-1988年)と彼の営む版画工房の名は、20世紀のパリで活動した芸術家たちのあいだで、伝説的な存在として語られてきました。

1921年、印刷所を経営していた父の死に伴ってフェルナンとその兄は会社を受け継ぎ、「ムルロ兄弟社」と名付けます。パリの一角でシャンパンのラベルや広告を製作するムルロのリトグラフ印刷所(工房)は、1930年にルーヴル美術館で開催された「ドラクロワ回顧展」のポスターが注目を集めたことをきっかけに、芸術的リトグラフ工房へと発展してゆきます。1930年代にはマティスが、第二次世界大戦後にはピカソ、シャガール、ミロ、コクトーらがフェルナンのもとを訪れ、リトグラフ制作に没頭しました。画家たちは工房に通い、製版や刷りを担当する職人と相談しながら納得のゆくまで版を重ね、時にはそれまでの常識を超える方法を試みて刷りを繰り返しました。ムルロ工房は芸術家と職人との協同作業によって、リトグラフの創造の可能性を追求する場となったのです。

ムルロ工房からは、ピカソの《鳩》、シャガールの《ダフニスとクロエ》、レジェの《サーカス》、ミロの《ユビュ王》といったいくつもの名作が世に送り出されました。本展では20世紀の巨匠たちのリトグラフ、挿画本、ポスター、美術雑誌に加え、ムルロ工房から日本に伝えられたプレス機など約300点の作品と資料をご紹介します。

\*会期中に展示替があります。詳しくはHPの出品作品リストをご覧ください。

- 1—ムルロ工房で使用されたプレス機 宇都宮美術館 撮影:伊藤時男 ©Tokio ITO
- 2—フェルナン・レジェ 《サーカス》より 1950年 うらわ美術館
- 3—パブロ・ピカソ 《鳩》 1949年 町田市立国際版画美術館 ©2015 - Succession Pablo Picasso - SPDA (JAPAN)
- 4—ル・コルビュジエ 《直角の詩》より 1955年 うらわ美術館 ©FLC / ADAGR, Paris & JASPAR, Tokyo, 2015 E1415
- 5—ジョルジュ・ブラック 《20の思索》より 1958年 うらわ美術館



### ●講演会

4月18日(土) 14:00-15:30 レクチャールーム  
「フェルナン・ムルロと自律の芸術としてのリトグラフィ・オリジナル」 講師:益田祐祐氏

予約不要、聴講無料、定員50名。(入館券が必要です)

本展の協力者である益田祐祐さんは、1964年に留学生としてフランスに渡り、パリで印刷と美術を学びました。その間に日本の「創作版画」の制作とは異なるリトグラフィを発見。1973年にフェルナン・ムルロと技術援助契約を結び、東京にリトグラフィの工房「アリエMMG」(1974-2007年)を設立。多くの日本の画家たちのリトグラフィ・オリジナルを制作しました。また、フェルナン・ムルロの著作『パリの版画工房』(求龍堂)の翻訳者でもあります。フェルナン・ムルロとリトグラフィについてお話を伺います。

### ●送迎バス時刻表

#### 京成佐倉駅→美術館

8:50 9:10 9:50 10:20 (10:50) 11:20 (11:50) 12:20  
13:20 (13:50) 14:20 (14:50) 15:20 15:50

#### JR佐倉駅→美術館

9:00 9:20 10:00 10:30 (11:00) 11:30 (12:00) 12:30  
(13:00) 13:30 (14:00) 14:30 (15:00) 15:30 16:00

#### 美術館→JR佐倉駅→京成佐倉駅

10:50 (11:20) 11:50 12:50 13:20 (13:50) 14:20 (14:50)  
15:20 15:50 (16:20) 16:45 17:15

( )内は土・日・祝日のみ運行

※ 国立歴史民俗博物館経由 佐:佐倉市美術館経由

※ 上記の館が休館の場合は経由しません

### ●学芸員によるギャラリートーク

4月4日(土)、5月2日(土) 14:00-15:00

予約不要 14:00 エントランスホール集合

本展担当学芸員が展覧会の解説を行います。

### ●ガイドツアー

予約不要 14:00 エントランスホール集合

(講演会・ギャラリートーク開催日を除く毎日)

ガイドスタッフがコレクション展示と展覧会をご案内します。

### ●コレクション展示情報

ムルロ工房展でご紹介する巨匠たちの絵画・彫刻を当館のコレクション展示室と庭園でご覧いただけます。

パブロ・ピカソ、ジョルジュ・ブラック、アンリ・マティス、ピエール・ボナール、フェルナン・レジェ、ジャン・デュビュッフェ、ジョアン・ミロ、ジャン・アルプ、ヘンリー・ムーア

### ●ツイッター情報

美術館と庭園の最新の情報を公式ツイッター(@kawamura\_dic)で発信しています。

### ■次回展覧会

「しなやかな関係 作品と場」(仮称)

2015年5月26日(火)ー2016年1月11日(月・祝)



### 【交通案内】

自動車: 東関東自動車道「佐倉IC」より国道51号を千葉方面へ進み「坂戸」交差点を左折、国道22号線(八街横芝線)を八街方面へ約700m直進右手(約10分)。無料駐車場300台。

東京駅から高速バスで: 八重洲北口から徒歩5分、京成高速バス3番のりばから「マイタウン・ダイレクトバス」乗車(約60分)

[行き] 東京駅9:55発→美術館11:02着

[帰り] 美術館15:29発→東京駅16:41着

料金: 大人片道1,340円

問い合わせ先: ちばグリーンバス 043-481-0808

東京駅からJRで: JR総武快速線エアポート成田で「佐倉駅」下車(約60分)、南口の美術館バス停より無料送迎バス(約20分)

上野駅から京成電鉄で: 京成本線特急または快特の成田空港方面行きで「京成佐倉駅」下車(約60分)、南口(シロタカメラ)前より無料送迎バス(約30分)